

# 座光寺石原遺跡 発掘だより



## 第1号

長野県埋蔵文化財センターでは、リニア中央新幹線の（仮）長野県駅と中央自動車道座光寺スマートインター（建設中）を結ぶ座光寺上郷道路の建設（長野県飯田建設事務所）に伴い、座光寺石原（ごこうじいしはら）遺跡、正泉寺遺跡の発掘調査を実施しています。遺跡は飯田市座光寺地区の土曾川左岸にあります。

過去の調査記録では、いくつかの古墳の存在と、石室から馬具や鉄鏃などが出土したことが報告されています。古墳の探求も、今回の調査目的の1つと考えています。発掘作業は11月まで実施する予定です。

地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 発掘調査の開始

今回の発掘調査では、最初に重機を用いて、溝を掘り、古墳や竪穴建物（竪穴住居）跡などの遺構が見つかる地層まで掘り下げました。

次に、遺構の発見された箇所の周辺を広げて、作業を進めました。猛暑の日には寒冷紗を張り、日影の中で調査しました。熱中症にならないように、注意しながら掘り下げを進めました。



調査風景（10区）

### 石器が出土しました

縄文時代や弥生時代とみられる打製石斧4点、横刃形石器4点、砥石1点が出土しました。これらの石器は、遺跡周辺で採取できる硬砂岩と緑色岩で製作されています。

打製石斧は土を掘るための道具として、横刃形石器が石の破片を刃物代わりに利用したと考えられています。



写真上が打製石斧、下が横刃形石器

## 集石炉の調査

集石炉が検出され、中には焼けた石や炭がたくさん詰まっています。現在のところ、遺物が出土していないので詳しい時期や性格はわかりませんが、これからの調査で明らかにしていきたいと思えます。



1号集石炉

## 竪穴建物跡を発見？

現在、集石炉の発見された10区とは別に、1区の調査を進めています。

黄色い土に対して、黒い土が一定範囲みられる場所があり、竪穴建物跡ではないかと推測しています。古墳時代の土器片も出土しています。今後の調査成果に期待しています。



竪穴建物跡？の検出状況

### ◆「集石炉」とは...

地面を掘った穴のなかに石（礫）を集めて、蒸焼きや石焼調理の施設としたと考えられています。今回の調査では、土が焼けて赤くなった壁が認められました。

同様の遺構としては、飯田市姫宮遺跡などで時期が縄文時代早期として報告されています。

座光寺石原遺跡発掘だより 第1号（令和2年10月吉日発行）  
長野県埋蔵文化財センター 飯田支所  
飯田支所：0265-49-0736 info@naganomaibun.or.jp  
発掘現場：090-1504-0361 HP：<http://naganomaibun.or.jp/>  
（担当：贅田明・吉川豊）

